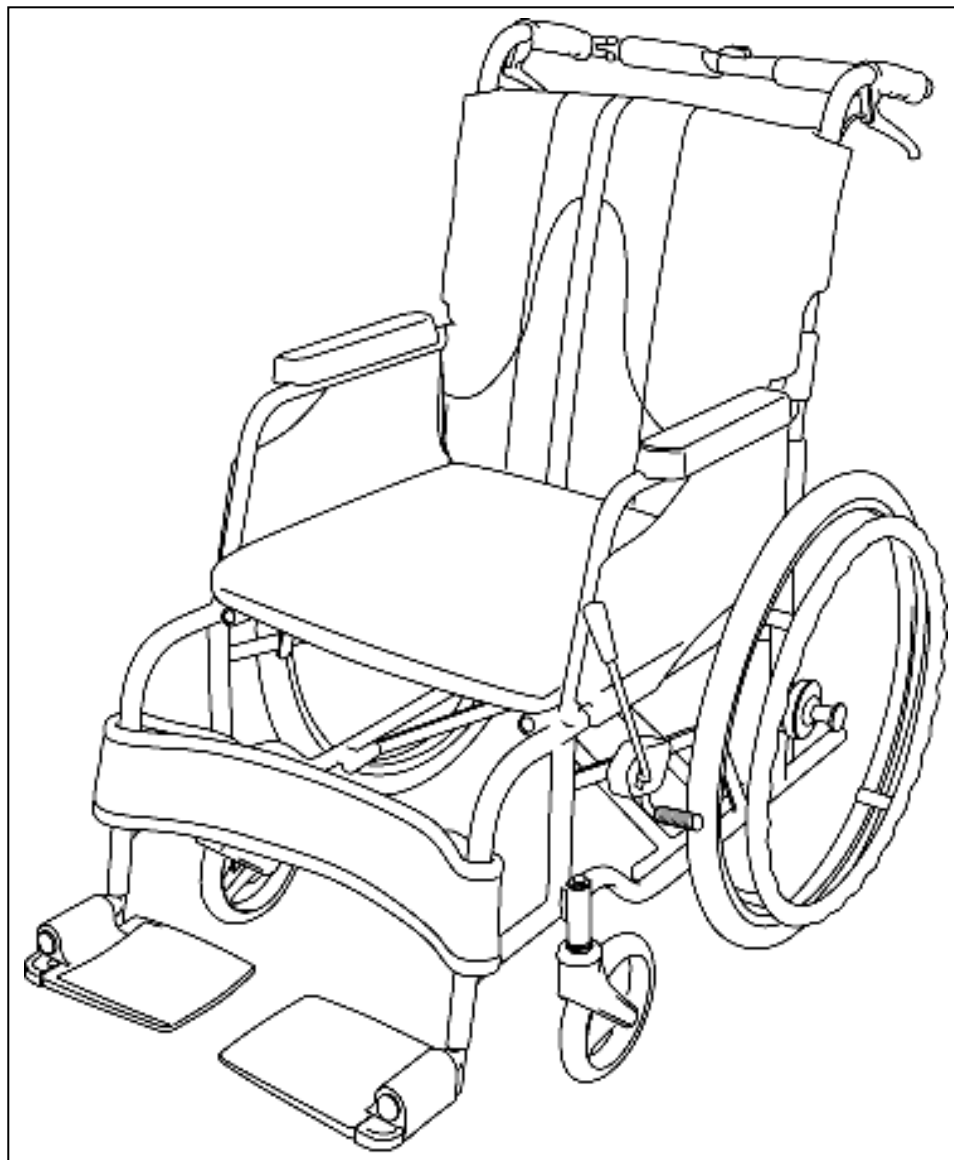


株式会社 インターリンクス

RevoSta

車いす取扱説明書

(レボスタシリーズ車いすシリウス全モデル対象)



※モデルはイメージ図です。現物とは異なる場合がございます。

第4. 4版 2012年3月製作

L I N X G R O U P

目次

0. 製品を快適にお使いいただくために	3
1. このマニュアルについて	3
2. このマニュアルでの安全に関する表記	3
3. はじめに	4
3-0. 全部ありますか?	4
3-1. 各部位の説明	6
3-2. 開封してからの調節作業	7
3-2-1. 座シートの連結部分の調節	7
3-2-2. 連結シートの取り付け	8
4. 使用上のご注意	10
4-1. 快適にお使いいただくために	10
4-2. 安全にお使いいただくために	10
4-3. 他の人にお怪我をさせないために	11
5. 各部品の使用法	12
5-1. 折畳み式芯張り	12
5-2. ホイールの取り付け	14
5-3. 転倒防止装置	15
5-4. 背折れ部品	15
5-5. 車いすの折りたたみ方	18
5-6. ブレーキ	21
6. メンテナンスするその前に	23
6-1. お客様ができる調整項目	23
6-2. 販売店におまかせする調整項目	24
7. 日々のお手入れ	24
7-1. お使いの前の点検と毎日のお手入れ	24
7-2. 一年ごとのお手入れ	24
8. こんなときには	25
9. 保証について	25
10. 本体仕様	26
11. 索引	26
12. この取扱説明書に関するお問い合わせ先	26

0. 製品を快適にお使いいただくために

このたびはレボスタ車いすをお買い上げありがとうございます。

本製品を安全にご利用いただき、快適にすごせるようこのマニュアルが作成されました。いつもお手元においておき、困ったときに参照ください。なお、紛失された場合にはホームページよりダウンロードしてください。

このマニュアルは予告なく改訂される場合がありますので、随時ホームページでご確認ください。

※このマニュアルのメモ欄にお買い上げ店、お買い上げ日、車体番号をメモしていただくと何かと便利です。

MEMO

お買い上げ店名 :

お買い上げ日 :

車体番号 :

1. このマニュアルについて

対象者・・・ご利用者、介助される方

このマニュアルはレボスタ車いす「シリウス」向けに作成されたものです。それ以外の製品に関しては、その製品に付属するマニュアルをご覧ください。

2. このマニュアルでの安全に関する表記

安全上の表示として「危険」と「注意」があります。注意してお読みください。



この表示を無視して誤った取り扱いを行った場合、**使用者あるいは周囲の人が死亡あるいは重傷を負う可能性**があることを示しています。

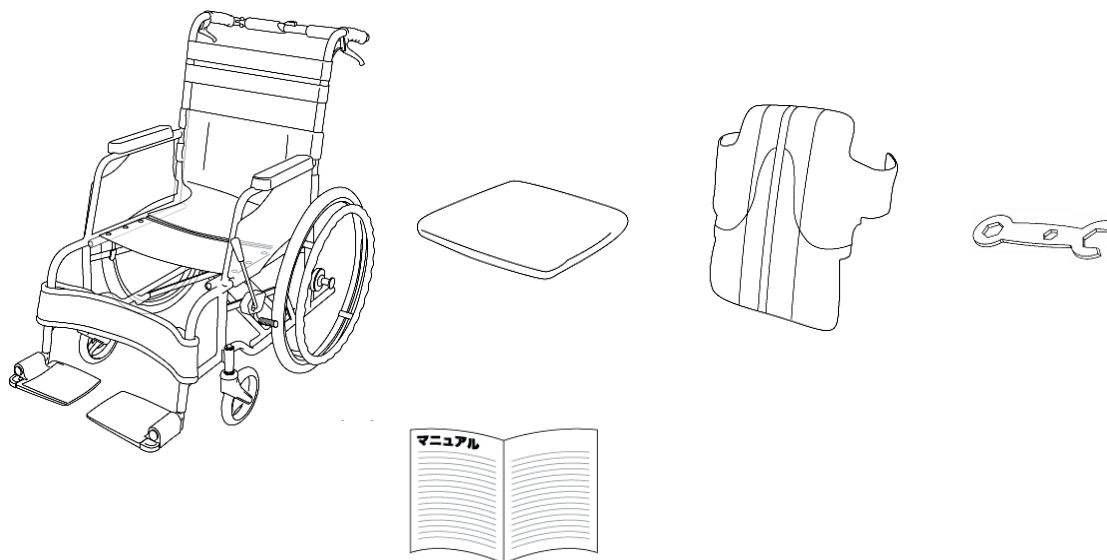


この表示を無視して誤った取り扱いを行った場合、**人が怪我を負う可能性があります**。また機器に破損が生じる可能性があることを示しています。

3. はじめに

3-0. 全部ありますか？

はじめに以下のものが揃っているかご確認ください。

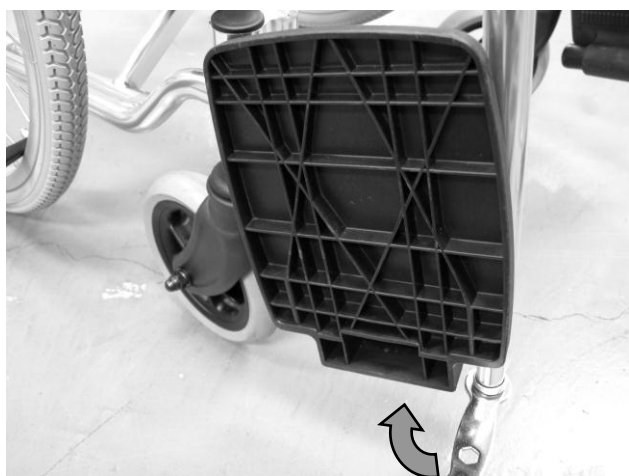


- | | |
|---------------|---------|
| 1. 本体 | 1 台 |
| 2. クッション | 一式 |
| 3. マニュアル | 1 冊(本紙) |
| 4. メンテナンス用スパナ | 1 本 |
| 5. バック | 1 個 |

もしご確認できなかった場合にはお手数ですが、ご購入された販売店までお電話ください。その際に注文番号、車体番号、お買い上げ日を伺いますのでお手元にご用意ください。

フットプレート（ステップ）の位置決めとボルトの締め込みをしてください。

※ 出荷時にはフットプレートのボルトがゆるめに設定してあります。下記の様にフットプレートを展開して位置の設定とボルトの締め込みをしてください。



- ① 上から見てスパナ（14mm）を時計回りに回転させてボルトを緩めます。
- ② インナーパイプをスライドさせてフットプレートの高さと位置を合わせたら、スパナ(14mm)を上から見て反時計回りに回転させてボルトを締め付けます。



危険！

フットプレートのボルトは抵抗のするまでしっかりと締め付けてください。締め付けがゆるいとフットプレートが脱落する恐れがあります。

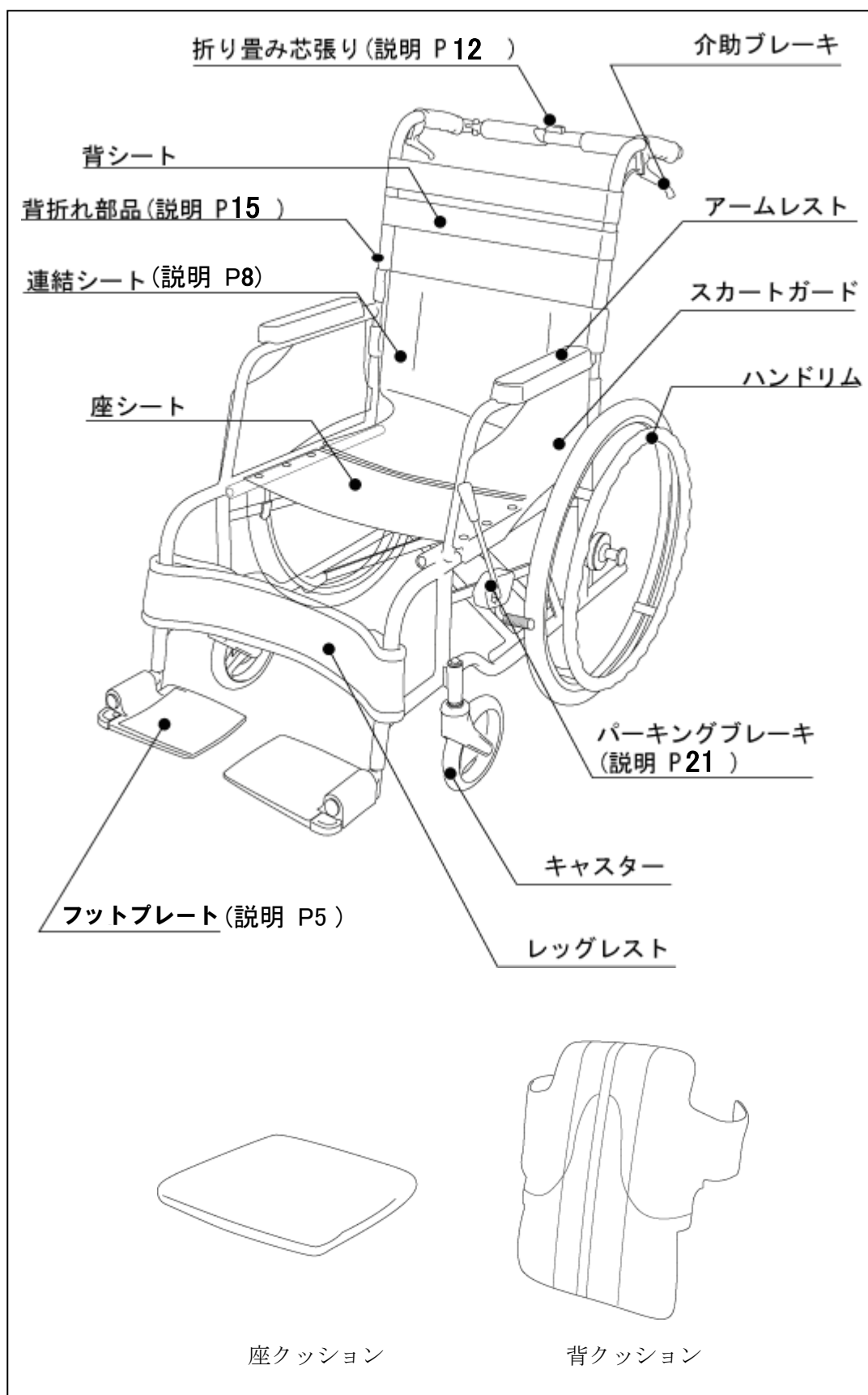


注意！

フットプレートのボルトを締めこんだまま無理にインナーパイプをスライドさせたり回転させたりしないでください。パイプ内部が破損し、インナーパイプが動かなくなる恐れがあります。必ずフットプレートのボルトを緩めてからフットプレートの調整を行ってください。

3-1. 各部位の説明

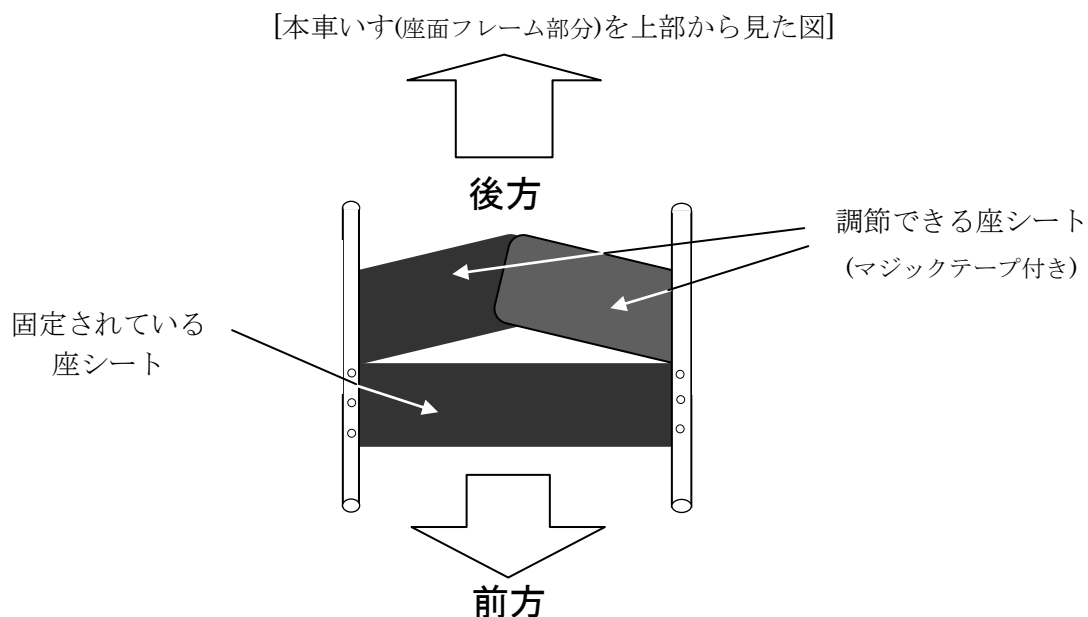
車いすの各部位の一覧



3-2. 開封してからの調節作業

3-2-1. 座シートの連結部分の調節

梱包時には座シートはマジックテープで貼り付けられている状態ですが、乗る方の状態に合わせて調節してください。



少々たるみがあったほうが臀部の収まりが良く長時間のご使用に適していますので乗る方の状態に合わせてマジックテープを貼りあわせるあわせの部分調節してご使用ください。



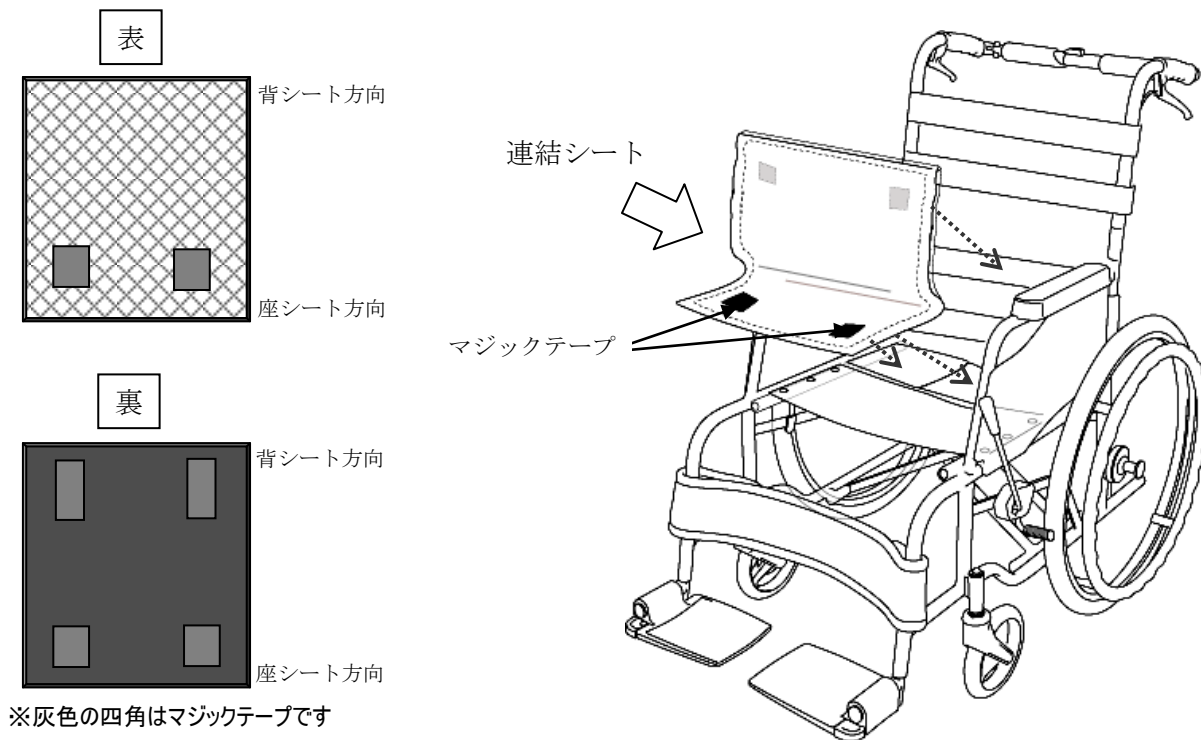
マジックテープをきっちり貼りあわせないとご使用中に外れてしまい、乗る方がお怪我をされる場合がございます。調節したあとははがれないように確認の上ご使用ください。

3-2-2. 連結シートの取り付け

梱包時には連結シートはマジックテープで貼り付けられている状態ですが、乗る方の状態に合わせて調節してください。

座シートと同様少々たるみがあったほうが臀部の収まりが良く、座クッションもずれることなく、快適にご使用できますので調節をしながら適度なたるみでご利用ください。

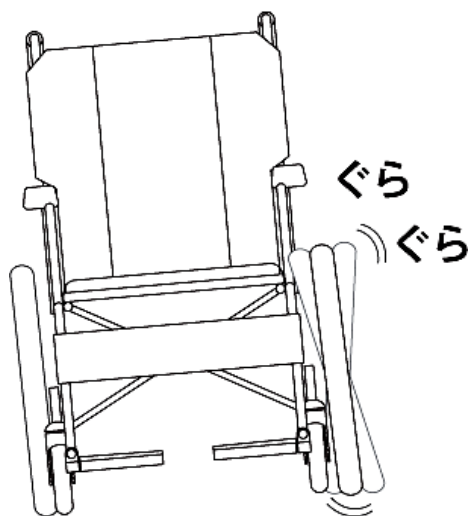
マジックテープが2枚しか貼られていないふわふわの面を表に、マジックテープの方を前方にしてお取り付けください。



3-3. 各部位の安全確認

安全な走行をしていただくために各可動部分のご確認を行ってください

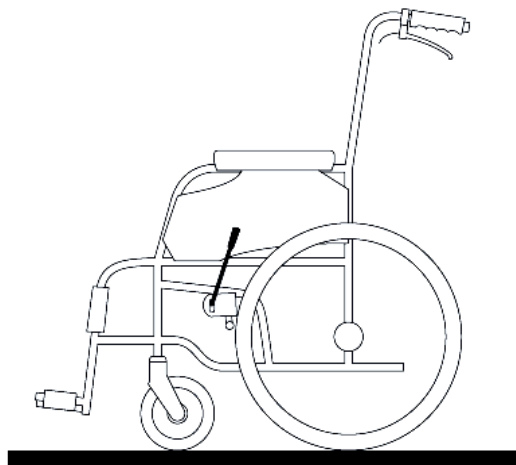
3-3-1. 車輪にぐらつきはありませんか？



本体を持ち上げて車輪(前輪・後輪)を軽くまわしてください。車輪がぶれずに回転していますか？

3-3-2. ブレーキはきちんと利いていますか？

[自走車モデルの場合]



本体を持ち上げて後輪を軽くまわしてください。ブレーキを動かしてみてください。
きちんと後輪が止まりますか？車輪が回る場合はブレーキを矢印の方向に引いてください。

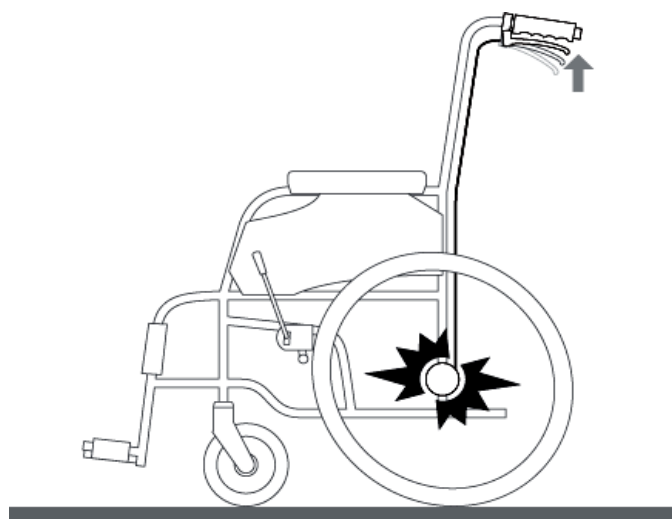
[介助車モデルの場合]

使用者用ブレーキ

本体を持ち上げて後輪を軽くまわしてください。ブレーキを動かしてみてください。きちんと後輪が止まりますか？

介助者用ブレーキ

本体に何も乗せずに平らなところで本体を走らせてください。介助ブレーキハンドルを握るとききちんと後輪が止まりますか？



4. 使用上のご注意

4-1. 快適にお使いいただくために



1. 車いすにはゴム・潤滑油・樹脂・スポンジなどが使われています。
熱に敏感なゴムや低温では性能を発揮できない潤滑油がありますので、下記の
使用環境下でお使いください
推奨使用環境

摂氏0度以上、45度以下

また直射日光での長期の保存はシートの色落ち、金属部分を触れることによるやけどを引き起こす
可能性があります。

2. スカート、コート、マフラーなどが車輪に巻き込まれる可能性があります。
ひざの下にしまうか、体に巻き込み、車輪との接触がないことを確認して、お使いください。

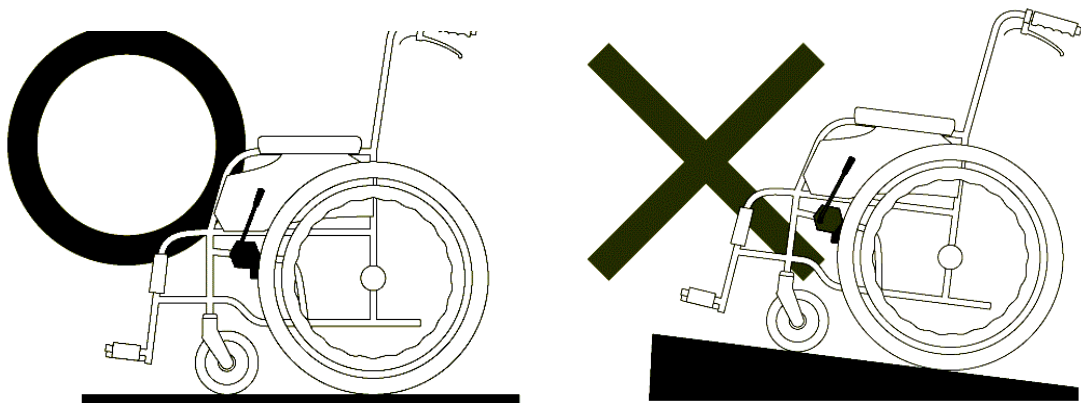
4-2. 安全にお使いいただくために



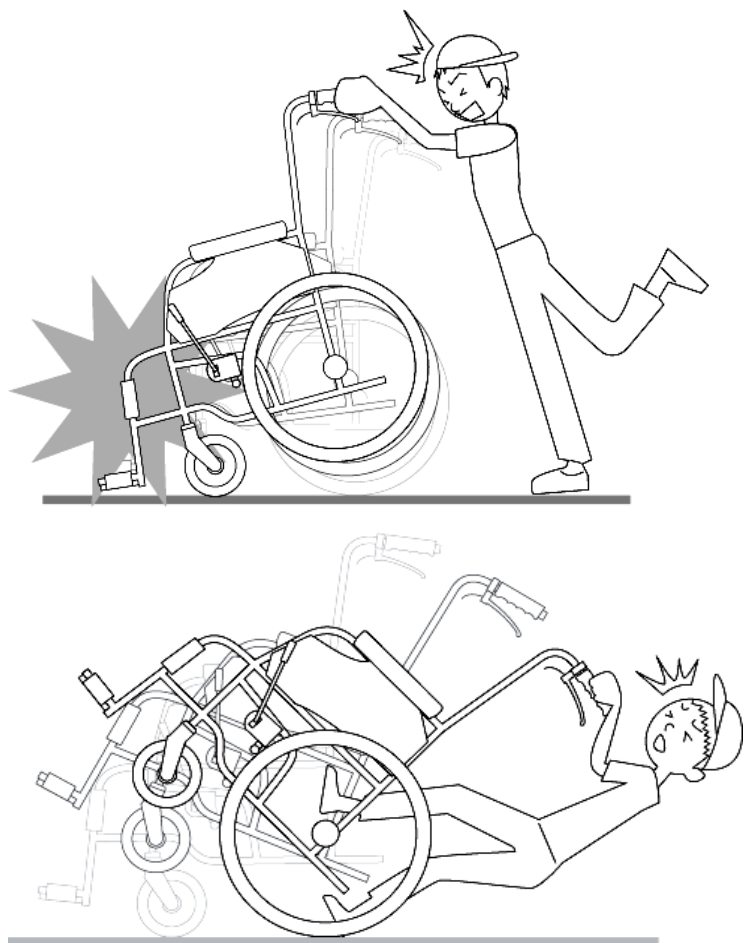
- ・ご使用者がお怪我しないために
1. お使いになる前には必ず簡易動作チェックを行ってください
 2. 車いすは歩行者です。歩道でお使いください。
 3. スポーツ走行やウィリーでの事故、破損は保証の対象外となります。自己責任を十分理解した
上でご使用ください。
 4. 走行中のリクライニング角度・ティルト角度の調整はおやめください
 5. ブレーキをかけたままの無理な走行はおやめください。タイヤが磨耗したり、空気圧が下がり
ます。ブレーキの利きが悪くなる場合があります
 6. 段差を乗り越える(キャリーアップ)動作を行う際はかならずティッピングバーを強く踏み、後
輪を支点とし、車いすの前方をあげてください。折り畳み芯張り（リジットバー）を握って無
理にキャリーアップされるとリジットバーが破損する恐れがあります。絶対におやめください。

4－3. 他のお人にお怪我をさせないために

1. 未使用時および停止時には左右のハンドブレーキをかけ、平らな場所に置いてください。



2. 小さなお子様のお近くでは気をつけてお使いください。スポークに指をはさんだり、後輪で怪我をさせてしまう恐れがあります。



5. 各部品の使用法

5-1. 折畳み式芯張り

本部品は屈折可能な補強用芯張り棒です(操作用ハンドルではありません)。

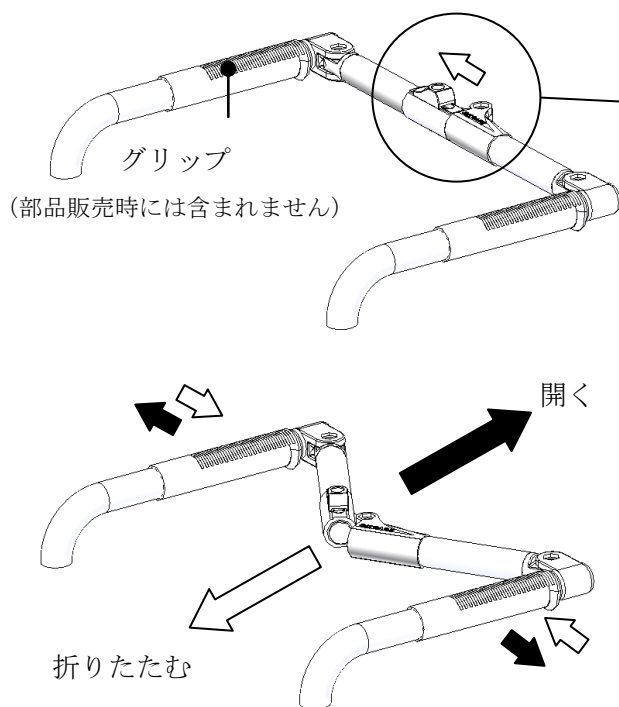
車いすを折りたたむ際に中央部分より屈折しワンタッチで内側に格納できます。

▲注意

耐荷重(目安 300N)以上の負荷荷重のかかる状態での使用は避けてください。

ロック解除レバー

折りたたみ操作方法



折りたたみ方

1. 中央のレバーを⇨方向に押してロックを解除します。
2. バーを内側に押し出すようにして折ります。
3. ハンドグリップの左右を合わせて折りたたみます。

開き方

1. ハンドグリップを左右に開きます。
2. ロックするまでバーを手前に引きます。

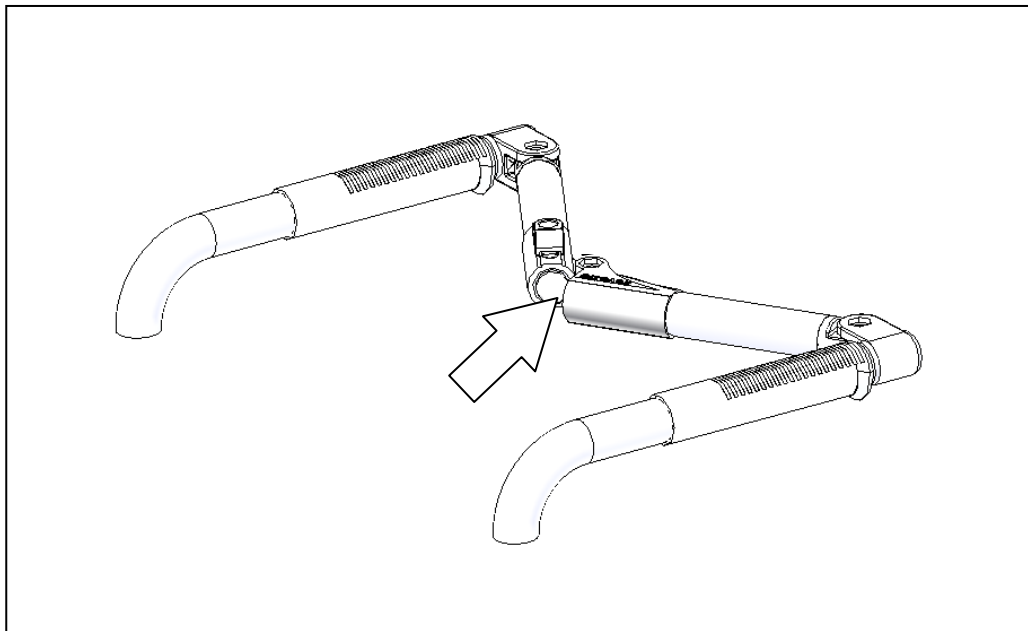
▲取扱上の注意

バーを折るとき、開くときに手を挟まない様に気を付けて下さい。



注意！

折りたたみ芯張り(リジットバー)の使用上のご注意



「折りたたみ芯張り(リジットバー)」を開いたり閉じたりする際、矢印の部分に隙間が生じます。こちらに**指や手のひら等**、操作する部位や衣服が挟まれる恐れがありますので、操作する際には**主に矢印の部分に十分に気をつけて**ご使用ください。

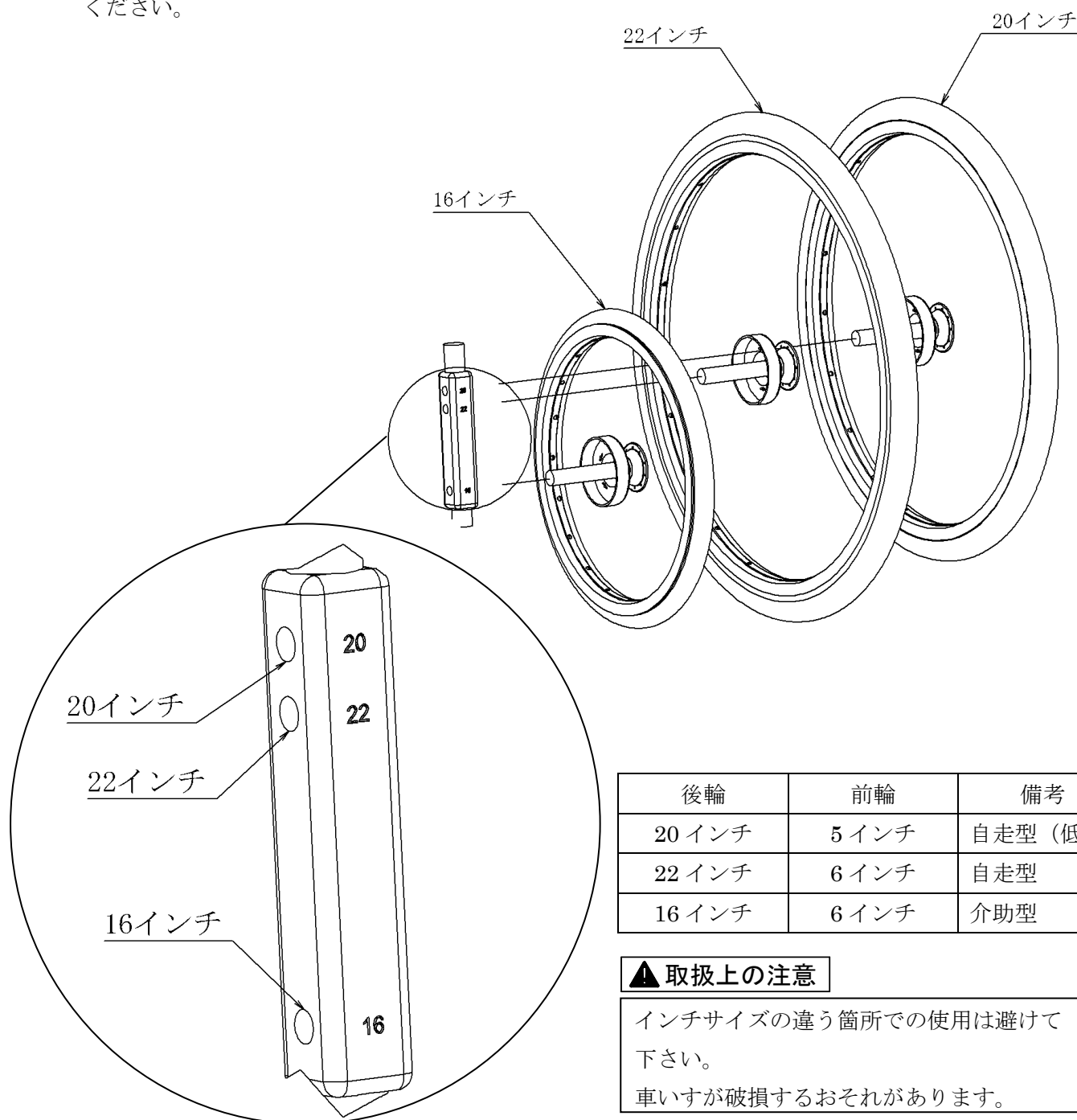


危険！

リジットバーは折り畳み車いすの剛性を高めるもので、介助時に**リジットバーをハンドルとしてお使いすることはできません**。介助時には必ず左右のグリップをしっかり握って操作してください。介助者がリジットバーを握って操作するとリジットバー破損による事故の恐れがあります。絶対におやめください。

5-2.ホイールの取り付け

本製品はホイールを取り付ける際にインチサイズによって取り付ける穴が異なりますので注意してください。

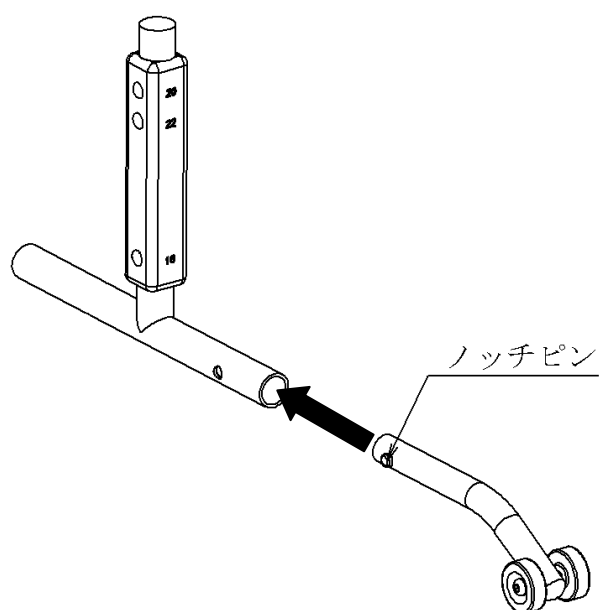


注意

5"×20"自走型(低床)タイプについて

他社製品の 20 インチ車輪をご利用ください。その場合**保障期間内でも保障対象外**となりますのでご了承ください。変更する際は**必ず前輪・後輪の両方を交換**してください。

5－3. 転倒防止装置

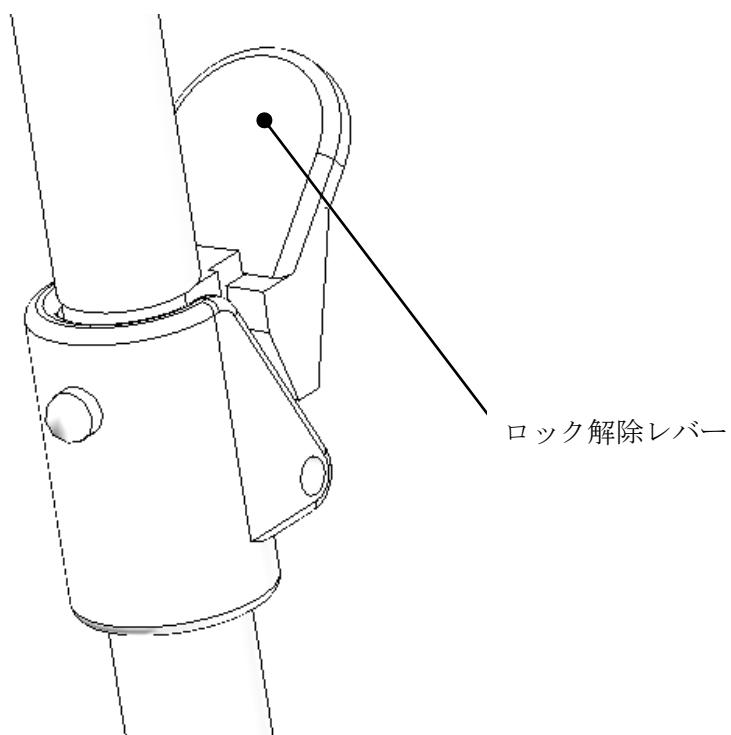


▲ 取扱上の注意

車輪を下にして差し込まないと転倒防止の機能が働きませんので方向を確認してお使いください。

5－4. 背折れ部品

本品は車いすを折りたたむ際に接合部より屈折し、背シートを収納する部品です。



背折れ部品折りたたみ方法

折りたたみ方

1. ロック解除レバーを前方に押ししてロックを解除します。(下図 1 参照)
2. フレームを接合部より後方に引くようにして折ります。(下図 2 参照)

開き方

1. フレームを前方に押し出すように上げます。
2. カチッと音がするまで確実に押し出します。

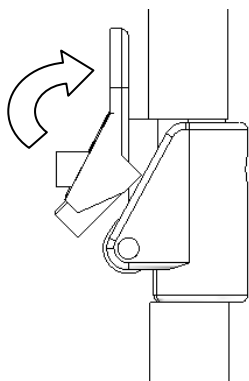


図 1

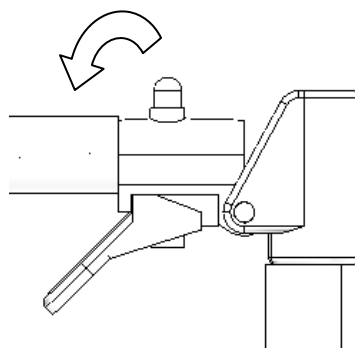
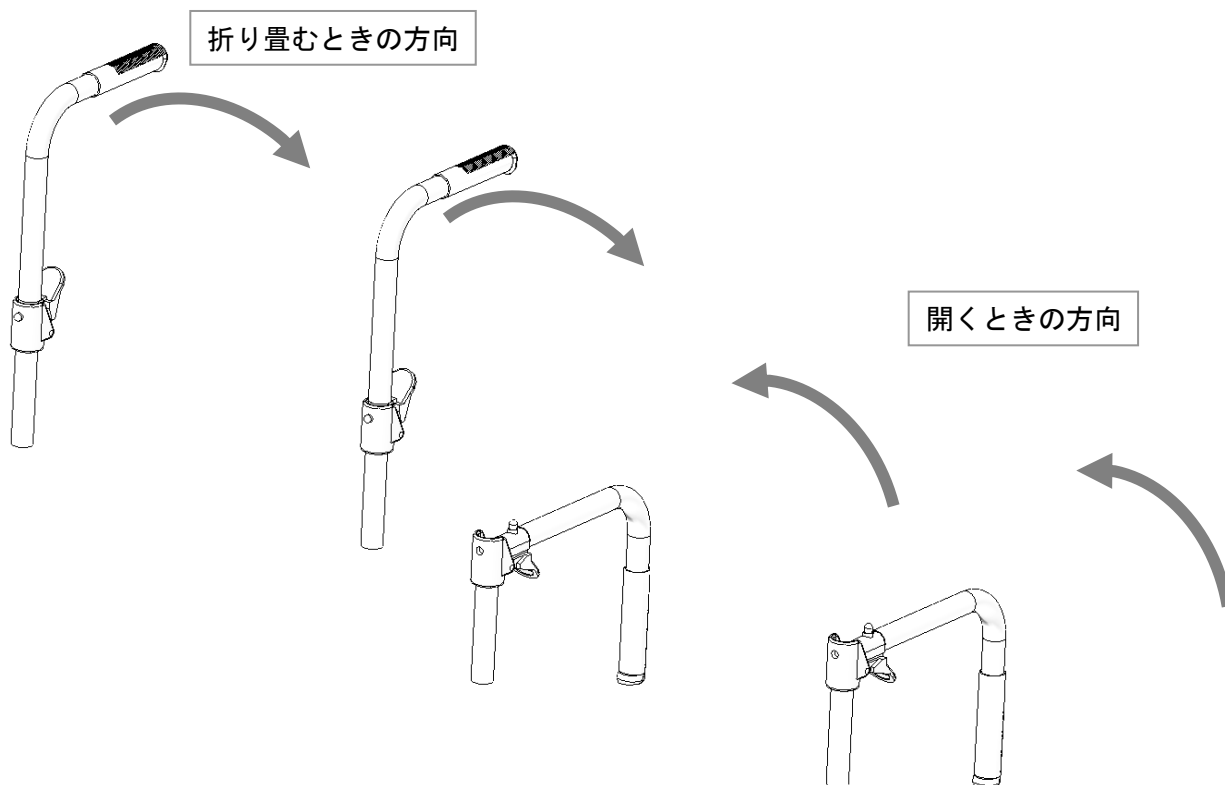


図 2

▲ 取扱上の注意

折りたたむときに部品に手を挟まない様に気を付けてください。

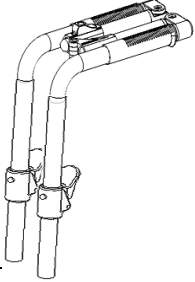
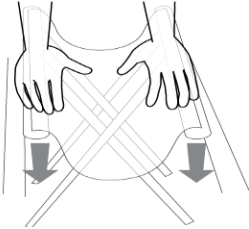
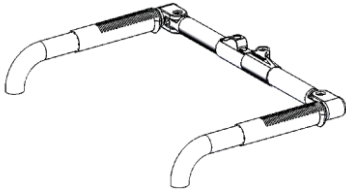
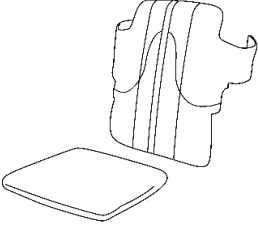
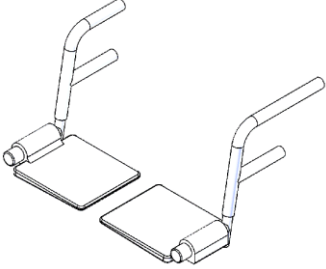
使用例



車いすの展開時での背折れ部品の立て方

手順を間違えると車いすを開くとき背折れ部品がうまく立たずロックできない場合があります。
車いすは以下の手順で展開してください。

展開手順

1. 背折れジョイントをカチッと音がするまで立てる 	2. X フレーム(18 ページ参照)を開いて固定する 
3. 折り畳み芯張り(11 ページ参照)をきちんと嵌め込む 	4. クッションを乗せる 
5. フットプレートを広げる 	

折り畳み芯張りをきちんとロックした後で背折れ部品を立てようとするとうまくロックの穴に入らず、背折れ部分がロックできない場合があります。

折り畳み芯張りを開いてロックする前に**まず背折れ部品から先に立てて**ロックしてください。

5－5.車いすの折りたたみ方

概略

ここではXフレームと座シートを使った折り畳み方を説明いたします。

折りたたみ手順

1. フットプレートたたみます(図1)
2. 座クッションを取り外します(図2)
3. 折り畳み式芯張りを折りたたみます(図3 P.11を参照してください)
4. Xフレームと座シートを使って全体を折りたたみます(図4)
※この部分をこの章で詳しく説明します)
5. 背折れ部品を折りたたみます(P.14を参照してください)

図. 1

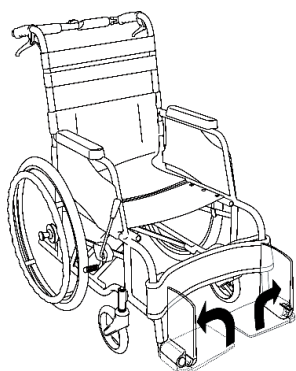


図. 2

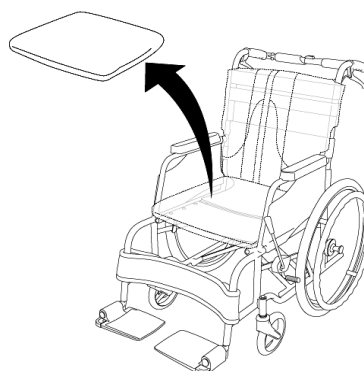


図. 3

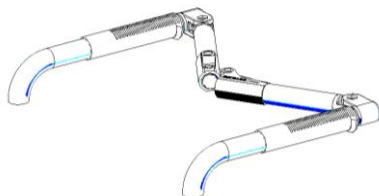
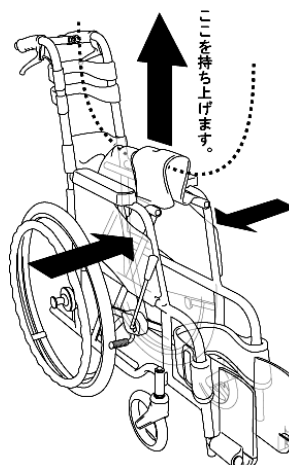
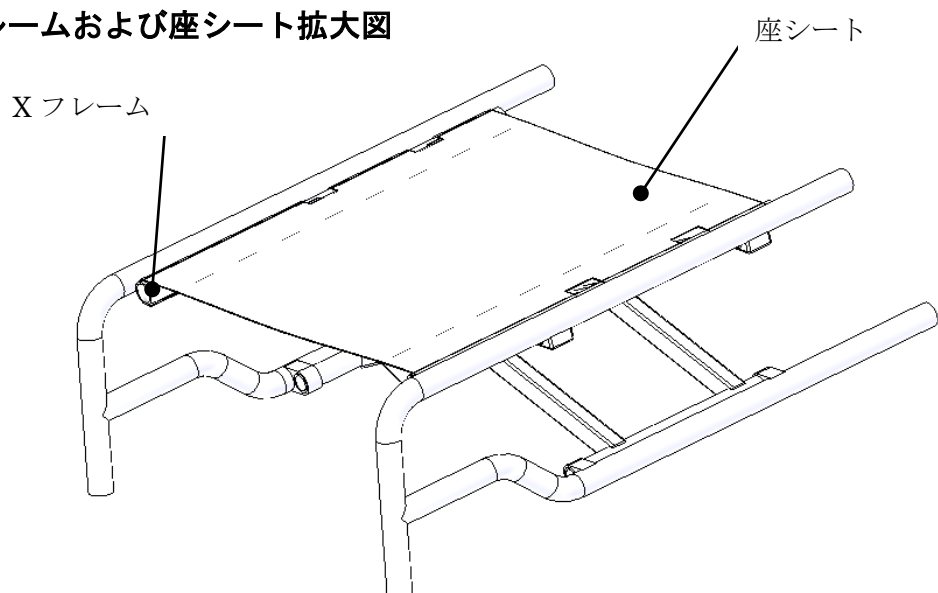


図. 4



X フレームおよび座シート拡大図



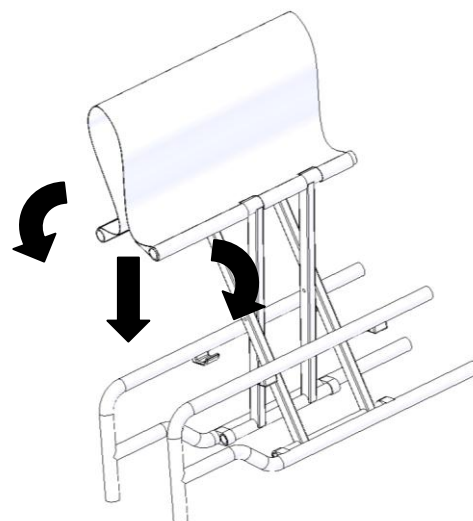
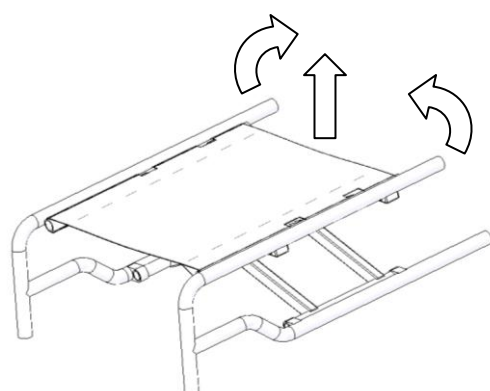
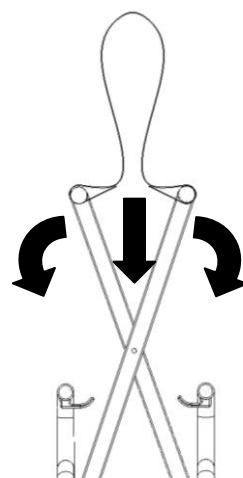
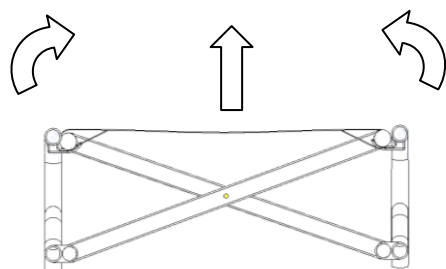
X フレーム折りたたみ方法

折りたたみ方

1. 座シートの中央部を上引き上げます。
2. X フレームの先端部を合わせて折りたたみます。

開き方

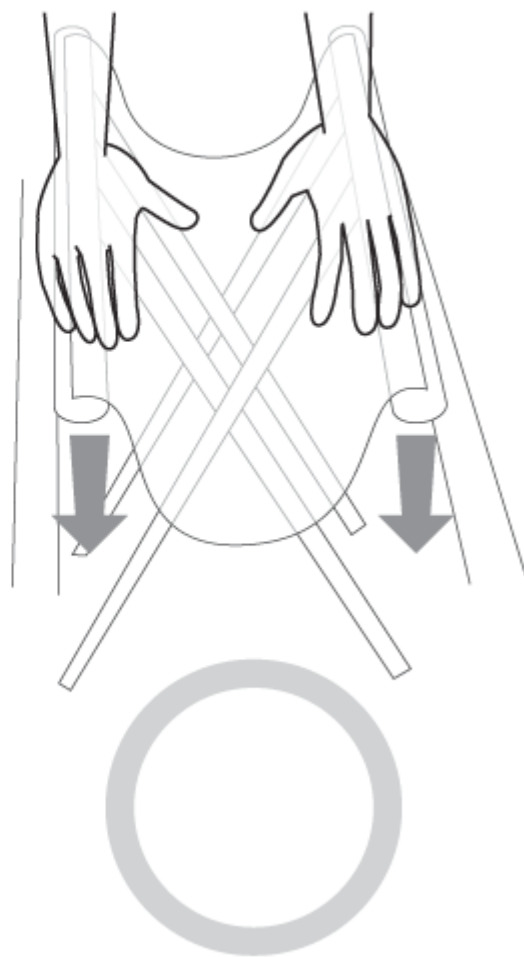
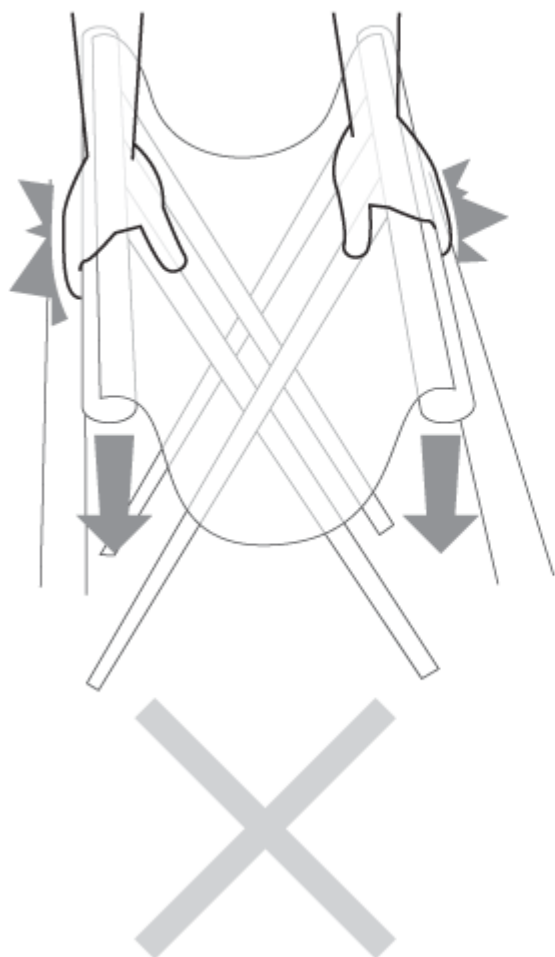
1. X フレームの先端部を持って少し開きます。
2. X フレームを下に押し広げます。



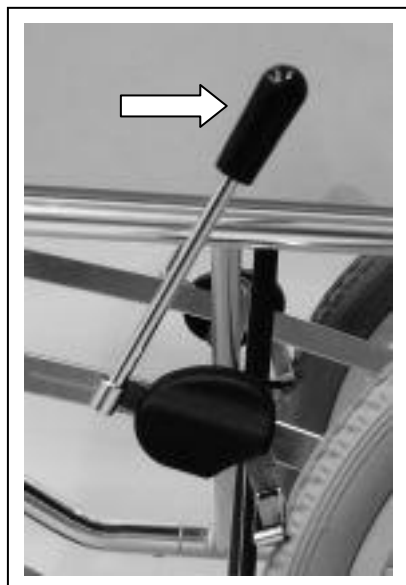


折り畳む際の注意：

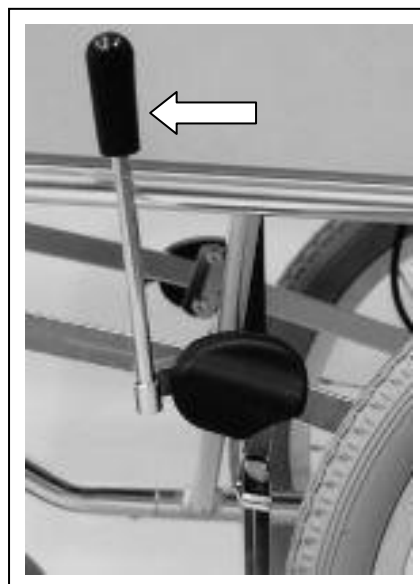
開く際は X フレームを握らないようにしてください。指を挟む恐れがあります。[下図参照]



5-6. ブレーキ ブレーキの操作



ロック



解除

<引き式ブレーキ>

※ ブレーキのデザインは商品と異なる場合があります。

パーキングブレーキのかけ方・解除の仕方

パーキングブレーキのかけ方

1. 左右のブレーキレバーをロックするまで後方に引きます。
2. 車いすが動かないことを確認します。

パーキングブレーキ解除の仕方

1. 左右のブレーキレバーを前方に押します。
2. ブレーキ解除を確認します。

調整・点検

ブレーキの調整

1. ブレーキとフレームをつないでいるボルトを緩めます。
2. ブレーキをスライドさせて最適な位置に合わせます。
3. ブレーキを固定させます。
4. 左右同様に調整します。

▲注意

空気圧が低いときやタイヤが磨耗しているときはブレーキのかかり具合も変わります。

▲注意

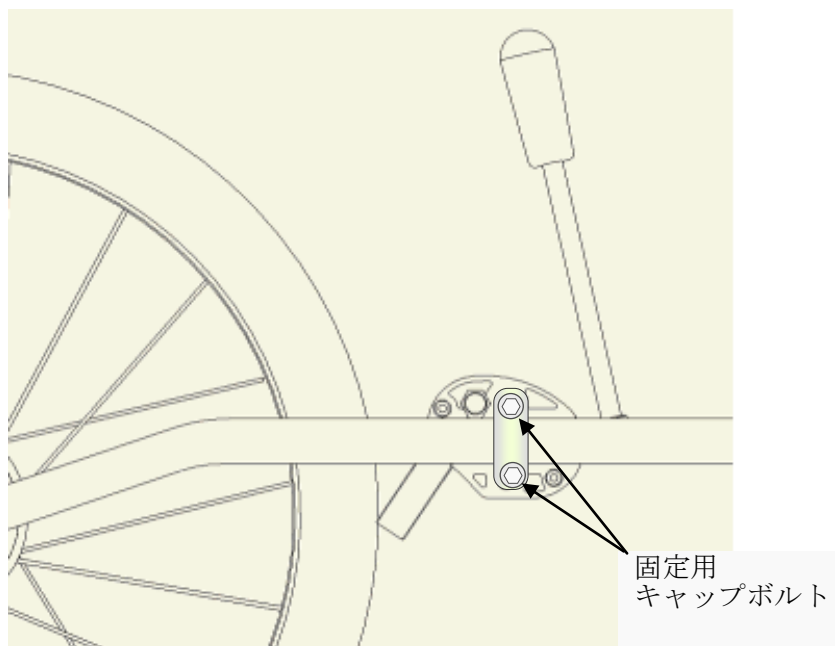
ブレーキは約5mm程度タイヤに食い込んでロックされる様に調整してください。

▲注意

ブレーキをかける時、解除する時にタイヤとブレーキの隙間に手を挟まないように注意してください。

▲注意

ロックした状態で車輪を持ち上げ、回転しないか確認してください。



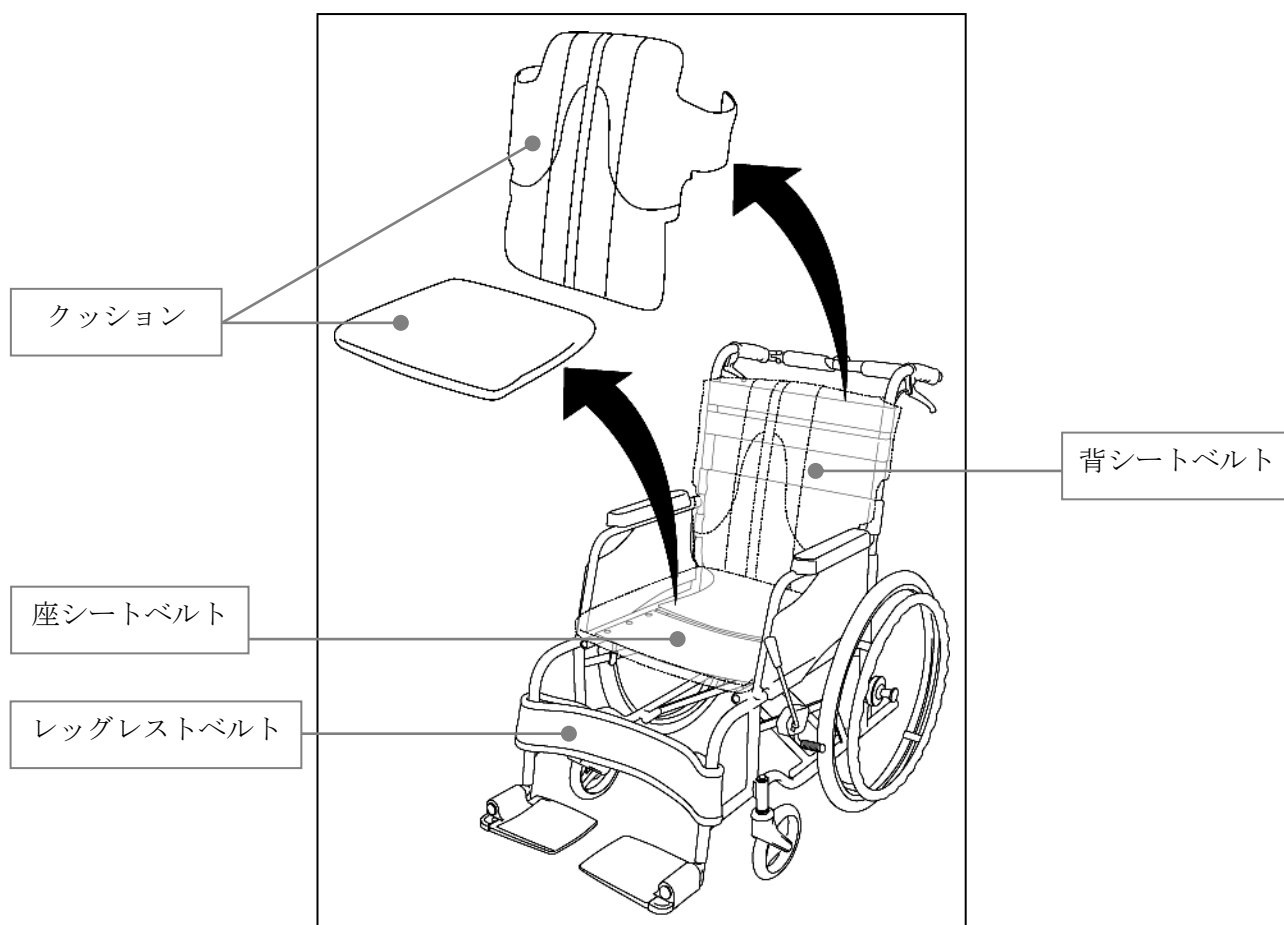
6. メンテナンスするその前に



車いすは機械です。お客様で調整できる部分と専門の取扱店でしか調整できない部分があります。ご自身でおこなうと危険がともなう場合がありますので、下記の項目に注意してできる範囲のみお客様自身で行ってください。それ以外はお買い上げ店またはお取扱店に依頼してください。

6-1. お客様ができる調整項目

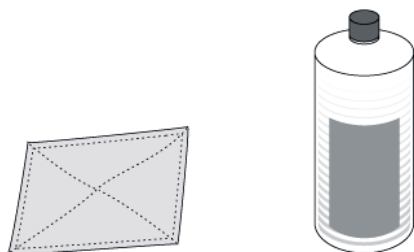
- ① 背シートベルト調整
- ② 座シートベルト調整
- ③ レッグレストベルト調整
- ④ クッション取替え



6-2. 販売店におまかせする調整項目

- ・ キャスター取り外し
- ・ キャスター位置調整
- ・ シート位置調整
- ・ 後輪位置調整
- ・ ハンドリムの交換
- ・ タイヤチューブの交換（経験のある方で自己責任を十分理解した上でのご自身の交換は可能です）
- ・ その他調整機構以外での分解・交換

7. 日々のお手入れ



7-1. お使いの前の点検と毎日のお手入れ

お手入れ点検項目一覧

- ・ ブレーキ点検
 - ・ タイヤ圧点検
 - ・ タイヤを軽く拭く
 - ・ (雨の日や雪の日)乾いたタオルでボディーを拭く
 - ・ 背シートおよび座シートを中性洗剤につけたタオルを固く絞って拭いてください
- ※シートを水洗いしますとマジックテープの接着力が落ちますので、おやめください。

7-2. 一年ごとのお手入れ

一年つかわれますと消耗部分が目立ったり、調節部分が緩んでくる場合があります。年に一度は車いすの本格的なお手入れをすることをお勧めします。販売店までお問い合わせください。

8. こんなときには

ブレーキの利きがわるい

タイヤの圧力が低くなっていませんか？

→お近くの販売店でタイヤの圧力を測ってもらってください。

→虫ゴムなどのバルブパーツのチェックをして下さい。

介助用ブレーキハンドルのワイヤーがたるんでいる、またはワイヤーが切れていませんか？ワイヤーの動きを確認してください。

タイヤの回りがわるい

潤滑油が切れている可能性があります。お近くの販売店でメンテナンスを行ってください。

すわり心地がわるい

背シートの調節はあっていますか？

座シートの調節はあっていますか？

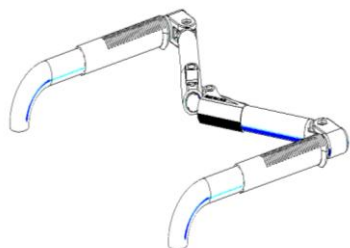
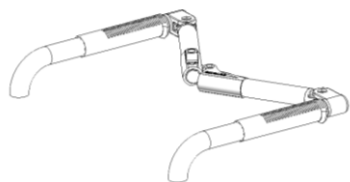
シートがくぼんで元に戻らなくなっていないですか？

背クッションが磨耗していませんか？

フットプレートの高さはあっていますか？

9. 保証について

付属の保証書をお送りください。弊社にて保証印を押させていただきます。なお本印がない保証書は無効となりますので必ずお送りください。



仕様

01- 2001	0101- LA2006	0101- LA2007	0101- LA2008	0102- LA6000	0102- LA6001	0102- LA6006	0102- LA6007	0102- LA6008
青	レザー ビニール	ナイロン ブルー	ナイロン ワインレッド	赤	青	レザー ビニール	ナイロン ブルー	ナイロン ワインレッド

	自走	介助
重 量 (kg)	14.8	13.8
タイヤ (インチ)	22	16
キャスター 径(インチ)	6	
座シート幅 (mm)	400	
座シート高 (mm)	410/385 (クッション含まず)	
座シート奥 行(mm)	400	
座クッション 厚(mm)	30	
フレーム色	アルマイトシルバー	

11. 索引

安全に関する表記, 3

X フレーム, 19

お手入れ, 24

折畳み式芯張り, 12

折りたたみ操作方法, 12

介助者用ブレーキ, 9

介助用ブレーキハンドル, 25

車いすの折りたたみ方, 18

座シート, 7

背折れ部品, 15

背折れ部品折りたたみ方法, 16

転倒防止装置, 15

ブレーキ, 9, 10, 21, 25

ブレーキの調整, 22

ホイール, 14

メンテナンス, 23

連結シート, 8

12. この取扱説明書に関するお問い合わせ先

〒463-0037 愛知県名古屋市守山区天子田 2-1702 リンクスビル

株式会社インターリンクス 製品管理部

TEL:052-726-8658 FAX:052-726-8657 E-mail:info@inter-linx.co.jp

2007094-RS2216-007